

競技注意事項

本大会は、2026年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則、(社)日本マスタース 陸上競技連合規定及び本大会の申し合わせ事項によって実施します。

1 陸上競技場使用上の注意

- (1) 当該種目競技者と指導者以外は、競技場への立ち入りを禁止します。
- (2) 練習場所については、本競技場、補助競技場ともに 7:00 から使用できます。ウォーミングアップ、ドリルはトラック外とフィールドの芝の中で行ってください。
- (3) 補助競技場は周回練習 (1 レーン)、スタート練習 (2～4 レーン)、(5 レーン)は中学女子ハードル、(6 レーン)は中学男子ハードル、(7 レーン)は高校一般女子ハードル、(8 レーン)は高校一般男子ハードルの練習レーンとします。また、バックストレートの 2～6 レーンはスターティングブロックを使ったスタート練習が出来ます。小学生の練習時は、必ず指導者がついて行ってください。また、補助競技場では投擲・跳躍練習は出来ません。本競技場の朝だけ指導者がついて行ってください。
- (4) 開門時間は、第 1、2 駐車場、競技場前駐車スペース 6:00、競技場 7:00 とします。
- (5) 本競技場での朝のトラック・フィールド練習は、8:30 (競技開始の 30 分前) までとします。但し、ゼロコントロールの時刻だけはゴール付近に絶対に近寄らないでください。

2 競技者の招集について

- (1) 招集場所は、競技場第 4 コーナー(第 1 ゲートの外側)となります。
- (2) 招集方法
 - ① 競技者は招集開始時刻までに 1 次点呼 (○付け) を行い、その後、召集完了時刻に各競技開始場所へ直接集合して下さい。但し、小学生は招集所に集合し、競技者係が誘導します。
 - ② 招集開始時刻までに 1 次点呼 (○付け) を行わない、または、召集完了時刻に競技開始場所に居ない競技者は、当該競技種目を棄権したものとします。
 - ③ 各競技開始場所での最終点呼は代理人を認めません。
- (3) 招集開始時刻 (○付け) 及び召集完了時刻 (現地集合時刻) は、すべてその競技開始時刻を規準とし、下記の通りとします。

種 目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック種目	2 5 分前	1 5 分前
フィールド種目	4 5 分前	3 0 分前

3 アスリートビブスについて

- (1) アスリートビブスはそれぞれ各団体、個人で割り当たった番号によるビブスを使用し、必ずエフォームの胸・背に着けてください。但し、跳躍競技に出場する者は、胸・背のいずれかで良いです。腰ナンバー標識は、各個人が用意したものを使用してください。トラック種目出場者については腰の左右後方に 2 枚付けてください。インサイドカメラ使用のため。
- (2) 800m 以下のトラック競技出場者は、腰ナンバーカードを各自で用意し、腰の左右後方に 2 枚付けてください。
- (3) 1500m 出場者は、腰ナンバーカードを競技者係で受け取り使用して下さい。また、800m 出場者で 10 レーン以上の場合、腰ナンバーカードを競技者係で受け取り使用して下さい。

4 競技について

- (1) トラック競技について
 - ① スターターの合図は、英語 (「On Your Marks」 「Set」) で行います。不正スタートをした場合は、小学生は同じ競技者が 2 回で失格、中学生以上は 1 回目で失格となります。

- ② 短距離種目では、競技者安全のため、フィニッシュライン通過後も自分のレーン（曲走路）を走ってください。
 - ③ タイムによる次のラウンドに進む出場者の決定については、最終枠に同記録がある場合は、写真判定員主任が 0.001 秒単位の実時間を判定して出場者を判定します。それでも同成績者がありレーンが不足する場合は、同成績者または代理人によって抽選します。なお、7ラウンド後 15 分を経過しても当該競技者あるいは代理人が大会本部に來なかった場合は、主催者が代行します。
 - ④ 100m、100mH、110mH は、風の状況により、バックストレートフィニッシュを行う場合があります。ただし、**暗くなってからの直線競技は、写真判定の照度の関係から、風に関係なくホームストレートで行います。**
 - ⑤ **800m は階段スタート**で行います。
- (2) フィールド 競技について
- 中学男女砲丸投、高校一般男女砲丸投はそれぞれ男女の人数の多い方を投擲ピット（Aピット）で、人数の少ない方を芝に向かって投げる Bピットで行います。
- (3) スパイクシューズのピンの長さは、9mm 以下とします。ただし、走高跳・やり投は 12mm 以下とします。これらのピンの直径は、少なくとも長さの半分以上が 4mm 四方の定規に適合し、数は 11 本以内とします。
- (4) シューズの靴底（ソール）の厚さについて（TR5.2）
- ①トラック種目について、すべての種目で 20mm 以下とします。
 - ②フィールド種目については、本大会では TR5.2 を適用除外とします。WA のフィールドシューズ規定に不適合なシューズを使用する場合でも、大会参加には影響はありません。ただし、記録については国内で通用する記録としての取り扱い（公認記録、国内上位大会参加資格記録、大会記録）となります。よって、その記録は国際大会等での参加資格となる記録や U18/U20 日本記録としては認められません。
- ※必要に応じて、競技役員が競技用靴を競技前、競技中または競技後に検査することもありますのでご承知おきください。
- (5) 競技者はビデオ装置・レコーダー・ラジオ・CD・トランシーバーや携帯電話、もしくは類似の機を競技場内に持ち込むことはできません。
 - (6) 競技者は勝手に競技場所を離れることはできません。
 - (7) 競技の進行上、競技開始時刻が変更になる場合があるので、放送に注意してください。
 - (8) 競技に使用する用具は、すべて主催者が用意したものを使用してください。
 - (9) 不当な行為をした競技者には警告が与えられ、場合によっては当該競技会から除外されることがあります。警告はイエローカード、除外はレッドカードを示すことによって競技者に知らされます。

5 結果発表と抗議について

- (1) 各種目の結果発表は7ラウンドで行います。競技結果の掲示は行わないので、スマートフォン等で確認してください。但し、**決勝のスタートリストのみ、招集所での掲示を行います。**
- (2) 発表された結果に対する抗議は、競技規則 TR7 に定められている時間内（同一日に次ラウンドが行われる場合には7ラウンド後 15 分以内、それ以外は 30 分以内）に、競技者自身または代理人が、審判長に対して口頭で行い、控室で裁定を聞いてください。さらに、この裁定に納得できない場合は**預託金（2 万円）**を添え、担当総務員（トラック・フィールド）を通じて Jury に文書で申し出てください。

6 開門及び本競技場開放時間について

各駐車場	6 : 0 0	開門
本競技場・補助競技場	7 : 0 0	開門

本競技場開放時間	7：00～8：30
補助競技場開放時間	7：00～最終レースの招集完了時まで

7 その他

- (1) 選手受付、マスタート受付は、**7時15分頃からエントランス**にて行います。その際にプログラムを受け取ってください。
- (2) プログラムの訂正は、8時00分までに大会総務に申し出てください。
- (3) 役員全体打合せは、8時00分からメインスタンド前で行い、その後各パートの打ち合わせを行ってください。雨天の場合は、エントランスにて行います。
- (4) 種目ごとの1位にメダル、1位～3位には賞状と**株式会社アパロン様よりスウェット巾着**を授与し、**参加者全員にスウェットの割引券**が配布されます。また、競技終了後、1位から3位に入賞した競技者は、**直ちにエントランスに集合**してください。
- (5) 全競技終了後、最優秀選手賞（札幌陸上競技協会会長杯）、優秀選手賞（北海道新聞社、読売新聞社、北海道日刊スポーツ新聞社）を授与します。なお、最優秀選手賞、優秀選手賞受賞者で、日本記録、北海道記録、大会記録樹立者にはそれぞれのバールに準じて育成奨励金またはスウェット商品券が授与されます。
- (6) 参加者への大会プログラムは、個人は1冊、チームは10人に1冊程度配布します。
- (7) 参加者へは山崎製パン様より、一個ずつパンが提供される予定ですが、参加者が多い場合は、**子供から優先**に配布致しますので、勝手に持って行かないでください。
- (8) 自分のゴミは必ず持ち帰ってください。
- (9) テントの設置は、取扱説明書をよく読み、設営をしっかりと行い、風が強いときはたたむなど対策をとってください。
- (10) 大会期間中に競技場で発生した傷害や疾病は、競技場内の救護室で応急処置を行うが、その後の責任は負いません。
- (11) 新型コロナウイルス感染症に関して、主催者は当該競技会に関わる全ての人の感染に対するいかなる責任を負いません。
- (12) 本大会に関して寄せられた個人情報、本大会の目的以外に使用することはありません。参加申込により、この取り扱いに承諾を得たものとみなし、氏名・学校名・学年・記録の紹介や掲示板、HPに掲載し、本大会が認めた報道機関にも公表致します。
- (13) 車の駐車については、**競技場前駐車スペース**に審判員のみ審判手帳を警備員に提示した上で駐車できます。**第1、2駐車場**は、保護者・一般の方も駐車は出来ませんが、必ず駐車ラインの中に駐車し、ライン外の駐車はお止め下さい。また、**バス専用スペースに駐車することのないよう**お願いします。また、他の車の前や、駐車場の出入り口付近に駐車し、駐車場への出入りに支障を来した大会も多くありましたので、よろしくご協力お願いします。駐車場がいっぱいになりましたら、くれぐれも路上駐車などなさらず、近隣の有料駐車場をご利用下さい。とにかく、駐車スペースには限りがありますので、出来るだけ公共交通機関をご利用してください。
- (14) 補助競技場の使用は、本大会に参加する選手と指導者・保護者のみです。個人の練習には使用しないでください。
- (15) 補助競技場の中や公園内の芝にテント等を張らないでください。補助競技場とウォーキングコースの間の傾斜地の芝の上は可能です。
- (16) 本競技場と補助競技場の間のスペースに、**様々な種類のキッチンカー**が出ますが、札幌陸上競技協会とは一切関係の無い営業となりますので、個人個人の責任においてご利用くださいますようお願い致します。